

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月28日(2022.10.28)

【公開番号】特開2021-69694(P2021-69694A)

【公開日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2021-021

【出願番号】特願2019-198240(P2019-198240)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月20日(2022.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な特別遊技状態にすることが可能な遊技制御手段と、

所定の画像を表示可能な表示手段および動作可能な可動体を含む演出手段を用いて、所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記可動体は、特定のキャラクタを想起させる特定表示を有しており、

前記演出実行手段は、

前記可動体を所定の動作態様で動作させることに応じて前記特定表示と同じまたは類似する特定画像を前記表示手段に表示する特定表示演出を実行可能であり、

前記特定表示演出が実行された場合でも実行されなかった場合でも、前記特定のキャラクタが登場する特定リーチ演出を実行することがあり、

前記特定表示演出が実行されて前記特定リーチ演出が実行されたときと、前記特定表示演出が実行されずに前記特定リーチ演出が実行されたときとで、前記特別遊技状態になる確率が互いに異なる、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記可動体は、特定キャラクタと非特定キャラクタとを含む複数のキャラクタを想起させる特定表示を有しており、

前記演出実行手段は、

前記可動体を特定の動作態様で動作させることに応じて、前記特定表示演出を実行するときと、前記特定表示と異なるまたは類似しない非特定画像を前記表示手段に表示する非特定表示演出を実行するときと、があり、

前記特定表示演出が実行された場合でも前記非特定表示演出が実行された場合でも、前記特定リーチ演出を実行することがあり、

前記特定表示演出が実行されて前記特定リーチ演出が実行されたときと、前記非特定表示演出が実行されて前記特定リーチ演出が実行されたときとで、前記特別遊技状態になる確率が互いに異なる、

ことを特徴とする遊技機。

30

40

50

**【手続補正2】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0007**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0007】**

本明細書に開示される遊技機は、遊技者に有利な特別遊技状態にすることが可能な遊技制御手段と、所定の画像を表示可能な表示手段および動作可能な可動体を含む演出手段を用いて、所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、前記可動体は、特定のキャラクタを想起させる特定表示を有しており、前記演出実行手段は、前記可動体を所定の動作様で動作させることに応じて前記特定表示と同じまたは類似する特定画像を前記表示手段に表示する特定表示演出を実行可能であり、前記特定表示演出が実行された場合でも実行されなかった場合でも、前記特定のキャラクタが登場する特定リーチ演出を実行することがあり、前記特定表示演出が実行されて前記特定リーチ演出が実行されたときと、前記特定表示演出が実行されずに前記特定リーチ演出が実行されたときとで、前記特別遊技状態になる確率が互いに異なる、ことを特徴としている。

10

20

30

40

50